

第19回

小さな展覧会

平成13年度京都府内遺跡発掘調査成果速報

日時：平成14年8月15日(木)～31日(土)

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
後援 京都府教育委員会 協賛 向日市文化資料館

展覧会開催にあたって

当調査研究センターでは、2001年度に31件の発掘調査を行いました。今回の展覧会では、そのうち注目された調査10件をとりあげ、京都府内の各関係機関の発掘成果12件と合わせて展示することといたしました。

この展覧会の目的は、冒頭で述べましたように、前年度に京都府内で行われた発掘調査の成果を出土遺物や写真などによって紹介し、合わせて一般の方々に埋蔵文化財への理解を深めていただくことにありますが、そのためにも、よりわかりやすく、親しみやすい展示を心がけたつもりであります。

今回の展覧会に後援をいただいた京都府教育委員会をはじめ、協賛をいただいた向日市文化資料館、いろいろとご協力賜った各関係機関に対しまして、深く感謝申し上げます。

2002年 8月

財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター

理事長 樋口 隆 康



遺跡あらかると —丹後(1)—

おおなる
【大成17号墳】 竹野郡丹後町竹野字イリ
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

竹野川河口部東岸の丘陵稜線上にあり、海岸壁上に分布する中心グループとは相対しています。石室の奥壁付近が残存し、二枚の埋葬面がありました。追葬時には扁平な石材を棺台にして、玉類、須恵器椀、鉄刀などを副葬した7世紀前半頃の横穴式石室です。後世、墳丘の平坦面に石仏や五輪塔が樹立していました。



とうぜんじ
【東禅寺古墳群】 宮津市須津字東禅寺
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

宮津市の西端、野田川河口域と阿蘇海西半部を望む標高30~45mの丘陵上に点在しています。5基以上からなり、古墳時代前期~後期に順次築造されたようです。1号墳は径21mの円墳で、3基の埋葬主体部には箱形木棺を使用し、土師器高杯、鉄鏃、小型櫛歯文鏡を副葬していました。この地域の有力な家族が築いたのでしょう。

くわばらくち
【桑原口遺跡】 宮津市喜多字繩手
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

宮津市の中央部を北流する大手川の右岸、丘陵裾部から大手川に伸びる微高地に広がっています。弥生時代後期および平安時代後期の2時期を中心とする集落遺跡です。弥生時代後期の長方形竪穴式住居跡、土器一括土坑や溝などが見つかっています。出土遺物は土器が主ですが、銅鏃や石製勾玉は珍しいものです。



主な展示資料 —東禅寺古墳群—



銅鏡



高杯



壺

遺跡あらかると —丹後(2)—



じぞうやま
【地蔵山遺跡】 与謝郡野田川町幾地字井根ノ谷
野田川町教育委員会調査

丹後地方では最大級の中世墓地として従前から著名で、近年範囲確定のための発掘調査が実施されています。集石遺構3基、集石墓2基、塚墓1基が新たに見つかりました。塚墓は、12～13世紀の須恵器壺を蔵骨器として埋納し、後世にその周囲に阿弥陀如来像を陽刻した石仏を10本立てていました。まいりばか詣墓かも知れません。

やまたに
【山谷横穴群】 与謝郡野田川町幾地字山谷
野田川町教育委員会調査

地蔵山遺跡の西隣、尾根西側緩斜面に2基の横穴が不時発見され緊急発掘が行われました。寄り添うように構築された横穴は、2号墓が1号墓より規模が大きく、2時期にわたる須恵器のみが副葬されていました。古墳時代後期の家族墓と思われます。



によ
【女布遺跡】 舞鶴市字女布

舞鶴市教育委員会調査

舞鶴湾の西奥に形成された沖積平野を流れる高野川と伊佐津川とが交差する場所に、弥生時代から飛鳥・奈良時代にかけて営まれた集落遺跡です。弥生時代中・後期の竪穴式住居跡7基と古墳時代の竪穴式住居跡3基が検出され、7世紀後半の掘立柱建物跡8棟は地方官衙関連遺構として注目されています。



主な展示資料 —桑原口遺跡—



銅鏃



勾玉



器台

遺跡あらかると —丹後(3)～丹波(1)—

【三浜丸山古墳群】 みはままるやま 舞鶴市三浜字丸山

舞鶴市教育委員会調査

大浦半島の若狭湾に面した砂丘上に位置し、縄文時代草創期から常に海上交通の要所でもありました。6世紀末から7世紀中頃まで次々に造営された7基以上の横穴式石室と小石室から構成される古墳群です。横穴式石室2基と小石室3基が発掘され、1号墳は追葬時に玄室内に新しく側壁を設ける特異な構造をしています。



【大島黒金窯跡】 おおしまくろがね 綾部市大島町字黒金

綾部市教育委員会調査

犀川の中流域の東方、以久田野丘陵の北側に袋状に入り込む谷の奥近くに所在しています。北からのびる尾根筋先端部の西斜面を利用して構築した6世紀後半の須恵器窯です。杯身、杯蓋、高杯、甕などがありますが、甕は主に焼台として使用されていました。綾部市内では初めての窯跡の調査です。



壺



高杯



甕



【絵熊遺跡】 えぐま 綾部市館町字絵熊

綾部市教育委員会調査

由良川の支流である犀川の左岸、東方からのびる丘陵の端部に立地しています。弥生時代中期に方形周溝墓群を営み、古墳時代後期には円墳を築造する、奥津城としての性格を帯びていました。飛鳥・奈良時代や中世時には居住区となり掘立柱建物を構築するようになります。五こ銚しょう杵すゐの出土は特異な集落を思い浮かべさせます。



主な展示資料 —太田遺跡—

遺跡あらかると —丹波(2)—



おおた
【太田遺跡】 亀岡市葺田野町太田
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

行者山の東南麓にあって、弥生時代前期～室町時代の集落を中心とした集落遺跡です。弥生時代末期の池沼や溝、平安時代後期と鎌倉時代前期の井戸2基・掘立柱建物跡などが見つかりました。溝の最下層から一括出土した弥生時代末期の土器は、この時期の土器編年の基準資料になるものと期待されます。

たんばこくぶんじ
【丹波国分寺】 亀岡市千歳町国分

亀岡市教育委員会調査

桂川の支流である七谷川によって形成された標高約105mの中位段丘上に位置しています。浄土宗の寺院として今も法灯を伝えています。往時は法起寺式に倣った伽藍配置でした。新たに中門南面東回廊側溝、礎石建物跡3棟、北面築地側溝や寺院北側築地跡などが見つかります。建物跡は、経蔵と倉庫と思われます。



ほづくまづか
【保津車塚古墳】 亀岡市保津町案察使
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

保津川の右岸、愛宕山系の牛松山から南西にのびる丘陵の先端部に形成された舌状台地上に位置しています。全長約53mの前方後円墳で、5世紀後半～末期に築造されました。二重の堀をもち、墳丘を葺石や樹物たてもので飾っていたようです。石見型盾形木製品の出土は、亀岡盆地内の首長墓形成に一石を投じています。



主な展示資料 —保津車塚古墳—



壺



甕



石見型盾形木製品

遺跡あらかると —山城(1)—

さやま
【佐山遺跡】 久世郡久御山町佐古・佐山
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川の右岸の肥沃な沖積地であって、旧巨椋池の南辺に位置しています。弥生時代後期から鎌倉時代頃まで断続的に営まれた複合遺跡です。45基以上の竪穴式住居跡や掘立柱建物跡と共に、平安時代後期～鎌倉時代の屋敷地を取り囲む濠から、牛馬各一頭分の骨格が出土し、柿こけら経や形代・短刀なども見られます。



うちさとはちろう
【内里八丁遺跡】 八幡市内里字今福ほか
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川左岸の自然堤防上に営まれた、弥生時代から中世にかけての複合遺跡です。弥生時代後期～古墳時代前期の竪穴式住居跡、飛鳥時代～平安時代前期の掘立柱建物跡や溝、平安時代末期～鎌倉時代の掘立柱建物跡や井戸などが新たに発見されました。石帯や墨書土器・施釉陶器などは公的施設の存在をうかがわせます。



みのやま
【美濃山廃寺】 八幡市美濃山字古寺

八幡市教育委員会調査

男山丘陵の東側、北西方にのびる支脈頂部の平坦面に造営された奈良時代の寺院跡です。詳細は不明ですが、寺域の北限と西限の区画溝が初めて検出されました。出土品中に覆鉢形土製品がありますが土製小塔と考えられ、最古に属します。また下層からは弥生時代後期の竪穴式住居跡が見つかりました。



主な展示資料 —内里八丁遺跡—



緑釉陶器



瓦器椀



墨書土器

遺跡あらかると —山城(2)—



^{あらかさか}
【荒坂横穴群】 八幡市美濃山字御毛通
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

横穴群が多数点在する男山丘陵の東側丘陵斜面に穿たれていて、従前より「隼人の墓」説があります。古墳時代後期(6世紀末～7世紀中葉)に周辺集落の居住者達がグループごとに横穴を構築して被葬者を埋葬したのでしょうか。22基の横穴から須恵器・土師器のほか、馬具やガラス小玉も出土しました。

^{ばしょうづか}
【芭蕉塚古墳】 城陽市平川字茶屋裏
城陽市教育委員会調査

京都府内最大の大形古墳群である久津川古墳群を構成する、5世紀後半に築造された前方後円墳です。墳丘全長は約115m、後円部径は約69m、同高さは約9m、前方部幅は約67m、同高さは約8mを測ります。三段築成で、墳丘斜面には葺石、テラス面には埴輪を樹立させ、外堤にも二重の埴輪列が廻っています。



^{むくのき}
【椋ノ木遺跡】 相楽郡精華町下粕字椋ノ木
(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川左岸の自然堤防およびその後背湿地に立地した縄文時代から中世にかけての複合遺跡で、中世では府内有数の拠点集落でした。新たに古墳時代の方形竪穴式住居跡や掘立柱建物跡が見つかり、壺・高杯などの土師器が出土しました。その下層では、縄文時代後期・晩期の土器片や石鏃などが発掘されました。



主な展示資料 — 荒坂横穴群 —



高杯



はそう



台付壺

遺跡あらかると —山城(3)—

さと
【里麿寺】 相楽郡精華町下狛字里垣外

精華町教育委員会調査

想念寺の西側に昔は土壇が残っていて、川原寺式や平城宮式の軒瓦をはじめとした多数の瓦類が散布することで早くから知られていましたが、その実態は不明のままでした。初めて確認された基壇は、一辺10数mを版築技法で積み上げ、周囲に瓦を立て並べたもので、7世紀末頃の築造と考えられます。



あかがひら
【赤ヶ平遺跡】 相楽郡木津町赤ヶ平

(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター調査

木津川に向かってのびる丘陵先端部にある弥生時代の集落跡と考えられてきましたが、新しく弥生時代前期の剥片石器廃棄土坑や同中期の円形竪穴式住居跡、室町時代頃の菊花文鏡を埋納した円形土坑などが検出されました。さらに南へ遺跡が広がっていくようです。出土遺物にはガラス製勾玉も含まれています。

くにきゅう
【恭仁宮跡】 相楽郡加茂町例幣

京都府教育委員会調査

内裏相当地区には東西に並ぶ2つの施設があったと考えられています。「内裏東地区」での調査で、築地基壇や掘立柱建物跡、東西溝が見つかり、築地基壇は同地区の西辺と南辺の築地塀と想定されています。築地塀とすると、「内裏西地区」より若干大きな区画になり、外観も大きく異なった施設だったようです。



主な展示資料 — 椋ノ木遺跡 —



大珠



高杯



瓦器椀

聚楽第跡出土の金箔瓦

聚楽第は、天正14年(1586)2月に豊臣秀吉が平安宮(大内裏)の故地、内野に関白公邸として築造した城郭で、内野殿下御屋敷などとも呼ばれました。天正16年(1588)4月には後陽成天皇の行幸が盛大に行われ、諸大名に関白秀吉への忠誠を誓わせるなど、豊臣政権にとって大変重要な儀式の舞台でもありました。天正19年(1591)12月に甥の秀次に関白職を譲り、その頃大名の屋敷替えが盛んに実施されましたが、文禄4年(1575)7月に秀次を追放・自刃させて、諸大名屋敷とともに破却されました。わずか10年にも満たない歴史でした。

今回新たに国の重要文化財に指定された桃山時代の金箔瓦は、京都市上京区和水町(京都西陣公共職業安定所)と、上京区両御霊町(京都府警察本部110番指令センター)から出土しました。

和水町出土瓦類は、聚楽第本丸内の建築物に、両御霊町出土例は聚楽第の東側に広がる城下町の諸大名屋敷に使用されたと考えられています。軒丸瓦は大部分が左巻きの三つ巴文瓦で、桐花文も一部含まれています。軒平瓦は均整唐草文瓦が主で、宝珠唐草文や波状文などの瓦も認められます。そのほかに熨斗瓦、棟込め瓦、鬼板瓦、獅子口瓦などの飾り瓦があります。金箔は、外縁部と主文様部に貼り付けていますが、和水町資料には下地にベンガラを塗って金色



和泉町出土の金箔瓦



両御霊町出土の金箔瓦

を鮮やかにみせるように工夫されています。また両御霊町の場合は、軒平瓦の瓦当面を大形化することで華やかさを増長させ、コビキBと呼ばれる鉄線による瓦製作時の粘土切り離し手法の出現など、造瓦技術の向上がうかがえます。

まさに近世瓦研究の定点として貴重であるばかりか、当時の豊臣政権の権勢を知る上で欠くことのできない資料です。

展示リスト

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
大成17号墳	須恵器	1	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	玉類	一括	〃	〃
東禅寺古墳群	銅鏡	1	〃	〃
	土師器	4	〃	〃
	滑石製勾玉	1	〃	〃
	鉄鏃	1	〃	〃
	銅鏃	1	弥生時代	〃
桑原口遺跡	石製勾玉	1	〃	〃
	弥生土器	4	〃	〃
地藏山遺跡	須恵器	1	鎌倉時代	野田川町教育委員会
	土師器	5	江戸時代	〃
	陶器	1	〃	〃
山谷横穴群	須恵器	14	古墳時代	〃
女布遺跡	子持勾玉	1	〃	舞鶴市教育委員会
	土師器	3	〃	〃
	須恵器	3	〃	〃
	玉関連遺物	一括	〃	〃
	石製品	3	縄文～弥生時代	〃
三浜丸山古墳群	須恵器	4	古墳時代	〃
	土師器	3	〃	〃
	耳環	2	〃	〃
	土玉	1	〃	〃
	弥生土器	2	弥生時代	綾部市教育委員会
絵熊遺跡	石製品	7	〃	〃
	須恵器	1	古墳時代	〃
	墨書土器	1	奈良時代	〃
	五鈷杵	1	平安～鎌倉時代	〃
	瓦器	1	鎌倉時代	〃
	須恵器	7	古墳時代	〃
大島黒金窯跡	須恵器	7	古墳時代	〃
太田遺跡	弥生土器	5	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	瓦器	2	鎌倉時代	〃
	土師器	2	〃	〃
丹波国分寺	軒平瓦	1	奈良時代	亀岡市教育委員会
	瓦器	2	鎌倉時代	〃
	土師器	5	〃	〃
	灰白磁	1	宋代	〃
保津車塚古墳	須恵器	4	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	木製品	4	〃	〃
	須恵器	2	平安時代	〃
	模型	1		亀岡高等学校
長岡京左京	墨書土器	1	平安時代	向日市教育委員会
	軒先瓦	2	〃	〃
	土器類	4	〃	〃
	木簡レプリカ	3		〃
長岡京右京688次	墨書土器	10	平安時代	長岡京市教育委員会
	須恵器	5	〃	〃
	土師器	5	〃	〃
佐山遺跡	弥生土器	3	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	中世土器	5	鎌倉時代	〃
	鉄製品	3	〃	〃

遺跡名	遺物名	点数	時代	保管者
内里八丁遺跡	墨書土器	6	奈良時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	須恵器	8	奈良～平安時代	〃
	土師器	3	〃	〃
	貨幣	2	〃	〃
	無釉陶器	1	平安時代	〃
	緑釉陶器	4	〃	〃
	黒色土器	1	〃	〃
美濃山廃寺	弥生土器	3	弥生時代	八幡市教育委員会
	覆鉢形土製品	2	奈良時代	〃
	土師器	1	〃	〃
	瓦類	3	〃	〃
荒坂横穴群	須恵器	10	古墳時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	土師器	13	〃	〃
	鉄製品	2	〃	〃
	ガラス玉	一括	〃	〃
芭蕉塚古墳	朝顔形埴輪	1	〃	城陽市教育委員会
	線刻埴輪	5	〃	〃
椋ノ木遺跡	縄文土器片	5	縄文時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	石器	5	〃	〃
	土師器	2	古墳時代	〃
	瓦器	8	鎌倉時代	〃
	土師器	4	〃	〃
	青磁	3	宋代	〃
里廃寺	軒丸瓦	4	飛鳥～奈良時代	精華町教育委員会
	軒平瓦	2	奈良時代	〃
	鴟尾片	5	〃	〃
恭仁宮跡	瓦類	5	奈良時代	京都府教育委員会
	須恵器	5	〃	〃
赤ヶ平遺跡	弥生土器	1	弥生時代	(財)京都府埋蔵文化財調査研究センター
	石鏃	5	〃	〃
	剥片石器	一括	〃	〃
	和鏡	1	室町時代	〃
聚楽第跡	金箔瓦	一括	桃山時代	〃

凡 例

1. 本パンフレットは、2002年8月15日～8月31日の第19回「小さな展覧会」の展示パンフレットである。
2. 展示資料は、(財)京都府埋蔵文化財調査研究センターおよび各機関が主として2001年度に発掘調査を行った遺跡・遺物を対象とした。
3. 展示資料中、都合により員数等が異なる場合がある。
4. 資料調査、パンフレット作成、展示資料借用にあたっては、次の機関からご指導、ご協力を受けた。
(順不同・敬称略) 野田川町教育委員会・舞鶴市教育委員会・綾部市教育委員会・亀岡市教育委員会・
亀岡高等学校・向日市教育委員会・(財)向日市埋蔵文化財センター・長岡京市教育委員会・(財)長
岡京市埋蔵文化財センター・八幡市教育委員会・城陽市教育委員会・精華町教育委員会・(財)京都
市埋蔵文化財研究所・京都府教育委員会

第19回小さな展覧会 発行日 2002年8月15日

編集・発行 財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 〒617-0002 向日市寺戸町南垣内40-3 TEL.075-933-3877 印刷 三星商事印刷(株)